

音楽と共に 展示リスト



展示の本からいくつかをご紹介します

【音楽が聴きたくなる物語】

資料名 著者 出版社 出版年	請求記号 資料コード	資料名 著者 出版社 出版年	請求記号 資料コード
革命前夜 須賀 しのぶ 文藝春秋 2018	B913.6/ス 103315543	夜想曲集 カズオ・イシグロ 早川書房 2011	B933/イ 103229800
東西ドイツ冷戦の時代、ピアノに打ち込むため東ドイツに留学した眞山柊史は、留学先の音楽大学で個性的な天才たちと日々を過ごしていた。ある日眞山は教会で美貌のオルガン奏者に出会う。彼女は国家保安省の監視対象者だった…。ベルリンの壁崩壊の頃の音楽家の成長が描かれています。作品に出てくるバッハのオルガン曲が聴きたくなる一冊です。		カズオ・イシグロの最初の短編集。ジャズ音楽を背景に、夫婦の危機をユーモラスに描いた5作品が収録されています。「夜想曲」は、整形手術を受け高級ホテルに滞在していたサクソ奏者と、同じ理由で隣室にいた女優が、お互い顔に包帯を巻いた状態でちょっとした冒険をするストーリー。重厚な長編とは、また違った味わいがあります。	
楽隊のうさぎ 中沢 けい 新潮社 2003	B913.6/ナ 102593546	シューマンの指 奥泉 光 講談社 2021	B913.6/オ 101771877
小学校時代から微妙ないじめを受けていた主人公。中学校でもなじめないでいる中、誘われるまま強豪吹奏楽部に入りティンパニーを叩くことに。先生や仲間たちに囲まれて、しだいに音楽に夢中になっていく少年。中学の吹奏楽部はいつの時代も青春でいっぱい。学生時代を懐かしみながら、吹奏楽を聴いてみたくくなります。		音大浪人が決まった春休みの夜、私は音楽室で後輩の天才ピアニスト永嶺が弾くシューマンの曲を耳にした。その直後にプールで殺人事件が起きる。その後、事故で右指を失ったはずの永嶺が、海外で演奏をしていると噂を聞く。あの夜の殺人事件の真相は何だったのか？シューマンに憑かれたピアニストの音楽ミステリー。	

【演奏家たちの話】

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
ショパン・コンクール	青柳 いづみこ	中央公論新社	2016	103008506	V763.2/7
5年に1度開催されるショパン・コンクール。今年の10月に行われ、日本の若い演奏家が2位と4位入賞という素晴らしい結果となりました。さまざまなドラマが生まれるショパン・コンクールの舞台裏を知ることができます。					
棒を振る人生	佐渡 裕		2014	102352168	762.1/サ
日本の誇る人気の指揮者、佐渡裕さんが自身の人生を振り返ります。小澤征爾、カラヤン、バーンスタインとのエピソードも登場し、指揮者が何を思いながら棒を振るのか感じられる本です。					
やがて鐘(カンパネラ)は鳴る	フジコ・ヘミング	双葉社	2020	103955532	762.3/ハ
子どもの頃から才能を高く評価されながら、聴力を失い、多くの苦難を乗り越え演奏を続けてきた奇跡のピアニストフジコ・ヘミング。「努力していればチャンスは巡ってくる」と、元気がもらえる彼女の人生哲学エッセイです。					

【楽器を奏でよう】

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
知識ゼロからのアコースティック・ギター入門	ゴンチチ/監修	幻冬社	2009	100388564	D763.5/チ
一度はギターを弾いてみたいと思ったことはありませんか？おうち時間が続く今、ちょっとギターに触れてみてはいかがでしょうか。写真や図がたくさん入ったアコースティックギターの入門書です。					
はじめてのカリンバ	Misa/指導・編曲	学研プラス	2021	104228872	763.8/ミ
オルゴールの細い金属棒のようなものを弾いて演奏するアフリカの民族楽器カリンバを知っていますか？親指ピアノ、ハンドオルゴールともいわれています。楽器初心者でも気軽に挑戦できます！					